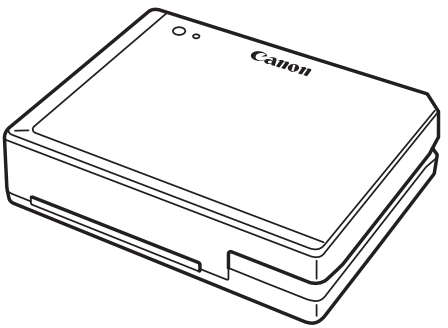
Canon

個人認証カードリーダー
ID-MY2
使用説明書



お客様へのお願い

この使用説明書 (本書) には、本機の特長を充分にご理解いただき、正しくお取り扱いいただくための、基本的な説明が記載されています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。また、本書はいつでも使用できるように、大切に保管してください。

(1) 本システムの運用結果につきましては、責任を負いかねます。
(2) 本書の内容の一部または全部の無断転載は禁止されています。
(3) 本書を作成するにあたっては万全を期しておりますが、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
(4) 本書の内容は、ソフトウェアの改訂などの理由により、予告なく変更されることがあります。

キヤノン電子株式会社

JPN

はじめに

このたびは、キヤノン 個人認証カードリーダー ID-MY2 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ID-MY2 は、公的証明書と金融機関のキャッシュカードの両方の読み取りに対応した業務用モバイル端末です。

登録商標について

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。キヤノン電子株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- Microsoft、Windows の名称およびそのロゴは、米国およびその他の国における Microsoft Corporation および / またはその関連会社の登録商標または商標です。
- その他、記載しているブランドおよび製品名は、各社の登録商標または商標です。

スマートデバイスへの接続について

スマートデバイスに本機を接続する際の設定方法につきましては、システム管理者にご確認ください。

本製品を国外へ持ち出すときは

本製品には、無線通信モジュールが内蔵されています。
日本国以外では、その国や地域の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国や地域では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本書では、説明文の簡略化のために次のように表現しています。

本機	「個人認証カードリーダー ID-MY2」を指す場合に使用します。
充電機器	本機を充電するために使用する機器を指す場合に使用します。
バッテリーパック	本機に内蔵されているリチウムイオン蓄電池を指す場合に使用します。

もくじ

はじめに 1

もくじ 2

1. ⚠ 安全にお使いいただくために 3
日常の取り扱いについて 3
バッテリーパックについて 5
無線通信機能について 6
充電機器について 7
リセットについて 7
良い状態で長期間ご使用いただくために 8
保守および点検について 8
耐環境性能について 9
電波障害自主規制について 9
工事設計認証済みモジュールの搭載について 9
廃棄について 10
ご不明な点や修理に関するご相談 10

2. 各部の名称と機能 11
本機の構成について 11
各部の名称と機能 12
LED の色・光り方・状態について 13

3. ご使用の前に 14
充電方法 14

4. 本機の基本操作 16
電源の切り替えについて 16

5. カードリーダーの使用方法 17
磁気カードの読み取り 17
接触 IC カードの読み取り 19
非接触 IC カードの読み取り 21

6. こんなときには（Q&A） 23

7. ID-MY2 製品仕様 24

1 ⚠ 安全にお使いいただくために

電気製品は、正しく取り扱わないと思わぬ事故や火災、感電の原因になります。個人認証カードリーダー（以下、本機）は万全を期して設計されていますが、次の警告事項および注意事項は、必ずお守りください。また、本書に記載されていない操作は行わないでください。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危険および損害の程度を、次のように区分しています。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

日常の取り扱いについて

⚠ 警告

- **本機を分解したり、改造したりしないでください。**
- **本機をアルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに置かないでください。**
- **本機の近くで可燃性のスプレーを使用しないでください。**
- **本機を湿気やほこりの多い場所には置かないでください。**
- **本機の内部に、水、引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）などの液体や、金属片（クリップやステープラーの針など）、シャープペンシルの芯などの異物が入らないようにしてください。**
- **本機の上に、液体の入った容器（コップ、花瓶、植木鉢など）やネックレスなどの金属物を置かないでください。**
  火災や感電の原因になります。
  万一液体や異物が本機の内部に入ってしまった場合は、直ちに本機の電源ボタンを押して電源をオフに切り替えてください。

⚠ 警告

- 本機を火中に投じないでください。内蔵されたバッテリーパックが爆発して、火災ややけどの原因になります。
- 異常な音、煙、発熱、異臭、変色、変形や、電源を入れても本機が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに本機の使用・充電を中止してください。
- 万一本機から液体がもれてきた液場合は、バッテリーパックの電解液が流出してしまっている可能性があります。この液体が目や口に入った場合は、ただちにきれいな水でよく洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。また、液体が手や衣服などについてしまった場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 本機に落とす、ぶつけるといった強い衝撃を与えないでください。
- 本機は微弱な磁気を出しています。心臓ペースメーカーをご利用の方は、異常を感じたら直ちに本機の使用を中止し、医師に相談してください。
- 本機は防爆仕様ではありません。可燃性蒸気の発生する場所ではご利用できません。

⚠ 注意

- 本機を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や、振動の多い場所には置かないでください。
- 本機の上に重いものを載せないでください。
  本機や載せたものが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

注意

- 本機の USB インターフェースに USB コネクターを接続する場合は、USB コネクターの種類が USB Type-C であることを確認してください。
- USB インターフェースや USB コネクターに不必要な力をかけないでください。
  本機や USB コネクターが破損したり故障する原因となります。

バッテリーパックについて

⚠ 警告

- **本機を分解して内蔵されているバッテリーパックを取り外さないでください。**

注意

- **本機の主電源であるバッテリーパックは、消耗品であり使用するにつれてフル充電の状態で使用できる時間が短くなります。この現象はバッテリーパックの特性によるもので、異常や故障ではありません。**

バッテリーパックの特性について

- 冬の屋外などの低温環境ではバッテリーパックの容量が低下するため、運用時間が短くなります。
- バッテリーパックは未使用でも時間の経過とともに放電し、劣化します。未使用でも半年に 1 度程度は充電してご使用ください
- 充電の際には換気に配慮してください。保管庫やキャビネットなど熱のこもりやすい環境で充電する場合、バッテリーパックの充電容量の低下が早まり電池寿命が短くなります。換気を行ない、熱がこもらないようにしてください。

バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。定期的に本機のバッテリーパック交換の手続きをお勧めします。

バッテリーパックの交換時期は、利用可能時間が新しいバッテリーパックの利用時間に比べて 70%程度になったときを目安にしてください。

バッテリーパックの寿命は使用環境により変わりますが、約 1 年から 1.5 年、また充電・放電の繰り返し約 300 回が目安となります。ただし、実際の運用では使用環境や使用状況によってバッテリーパックの寿命は変わります。

バッテリーパックの交換について

バッテリーパックの交換の際は、必ずお買い上げの販売店にお問い合わせください。

無線通信機能について

本機には総務省指定第 AC-10042 号の型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備および無線通信機能が内蔵されています。
本機に内蔵されている誘導式読み書き通信設備に変更を加えることは、電波法令に違反することになりますので絶対に行わないでください。
また、誘導式読み書き通信設備および無線通信機能で使用する電波により医療機器や各機器に影響を及ぼし重大な事故の原因となるおそれがあります。
以下の場所では無線通信機能を使用しないでください。

- **心臓ペースメーカーをお使いの方は、無線通信機能を使用しないでください。**
  無線通信に使用する電波が心臓ペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

- **心臓ペースメーカー等の医療機器を使用されている人の近くでは、無線通信機能を使用しないでください。**
- **病院などの医療機関内や医療用電気機器の近くでは無線通信機能を使用しないでください。**
  無線通信に使用する電波が心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与える恐れがあります。
  ご利用に関しては各医療機関へお問い合わせください。

- **航空機内で無線通信機能を使用しないでください。**
  無線通信に使用する電波が航空機内の精密機器へ影響を及ぼし、誤動作による重大事故の原因になる恐れがあります。

- **自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは無線通信機能を使用しないでください。**
  無線通信に使用する電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になる恐れがあります。

電波に関するご注意

この機器の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器や、ほかの同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「ほかの無線局」）が運用されています。
下記の点に注意してご使用ください。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。停止後、販売店または担当営業までご連絡をいただき、混信回避のための処置等（例：パーテーションの設置等）についてご相談ください。
3. その他、この機器から「ほかの無線局」に対して電波干渉の事例が発生した場合など、お困りの事態が発生した時には、お買い上げの販売店または担当営業までご確認ください。

充電機器について

⚠ 警告

- **充電機器に付属している説明書の警告・注意事項をよく読み、安全な使用をお願いします。**
- **USB コネクターを本機の USB インターフェースに接続している状態で、コネクターのジャック部分に不必要な力を加えないでください。**
  ジャックおよび USB インターフェースの破損の原因となります。
- **この方法で充電を行った後は、必ず USB コネクターを本機から取り外してください。**
  USB コネクターを接続したままで本機を使用すると、誤動作や故障の原因になることがあります。

注意

- **充電機器を使用しないときは、安全のため電源コードを機器及びコンセントから抜いてください。**
- **延長コードを使用する場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。**
- **バッテリーパックの充電は、0℃～ 40℃の温度範囲で行うことができます。ただし、バッテリーパックの性能を最大限に発揮させるために、10℃～ 30℃の温度範囲内で充電することをお勧めします。**

リセットについて

⚠ 注意

電源の切り替え時やホスト機器との通信時に、通知 LED が正しく変化しない場合は、システム管理者とご相談し、下記の手順でリセットの処理を行なってください。

1. 電源ボタンを 10 秒以上長押ししてください。その間に通知 LED が消灯し、再度ミドリ色に点灯します。
2. 通知 LED がミドリ色に点灯したら、電源ボタンから手をはなしてください。

良い状態で長期間ご使用いただくために

本機は精密な電子部品で構成されています。より良い状態で長期間ご使用いただくため、次の事項をお守りください。

- 直射日光が当たる場所で長時間使用しないでください。また、直射日光が当たる車内など、高温になる場所で使用したり保管しないでください。
- 急激な温度変化がある場所で使用しないでください。特に寒冷地など、室温と外気の温度差が大きい場所を移動したり、冷え切った部屋を急激に暖めた場合などは、機器内部に結露（水滴）が生じることがあります。このようなときは、水滴が自然に蒸発するまで、本機の使用を控えてください。
- 使用時の温度範囲は－10℃～ 50℃を、湿度範囲は 10%RH ～ 90%RH を目安にしてください。ただし、結露している場合は、水滴が自然に蒸発するまで、本機の使用を控えてください。
- 保管時の温度範囲は－20℃～ 60℃を、湿度範囲は 10%RH ～ 90%RH を目安にしてください。ただし、結露している場合を除きます。
- 本機を水にぬれたまま放置しないでください。本機が水にぬれた場合は、乾燥したやわらかい布で水分を拭き取ってください。本機をぬれたまま放置すると誤動作や故障の原因となることがあります。
- 本機に磁石を近づけたり、テレビやラジオなど強い磁界を発生するものの近くで使用しないでください。機器の動作に悪影響を与えることがあります。

保守および点検について

- 本機を清掃するときは、本機の電源をオフに切り替えてください。火災や感電の原因となります。

耐環境性能について

本機の耐環境性能はお客様への販売時点におけるものであり、本機の使用・保管の環境や本機への衝撃・摩擦・経年劣化などにより低下しますので、ご了承ください。また、本機の耐環境性能は当社試験方法による試験値であり、無破損・無故障を保証するものではありません。本機の耐環境性能を保持するために、次の注意事項をお守りください。

- 本機がぬれているときや水辺など水が飛びやすい場所では使用しないでください。
- 本機を水にぬれたまま放置しないでください。本機が水にぬれた場合は、乾燥したやわらかい布で水分を拭き取ってください。本機をぬれたまま放置すると誤動作や故障の原因となることがあります。
- 使用上の不注意により本機内部に水が浸入した場合、誤動作や故障の原因となることがあります。

電波障害自主規制について

ID-MY2 について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

工事設計認証済みモジュールの搭載について

本機には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第 2 条第 1 項 19 号に掲げる以下の無線設備が組み込まれております。

機器名称	DA14531MOD-00F0100
工事設計認証番号	018-200152

廃棄について

- 本機を廃棄する場合は、お買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせください。
- 充電機器を廃棄する際には、必ず法律や地域の条例、充電機器に付属している取扱説明書の記載内容に従って廃棄してください。

ご不明な点や修理に関するご相談

- 本機の補修用性能部品（本機の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 5 年です。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせください。

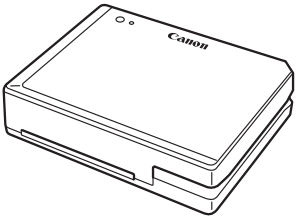
2 各部の名称と機能

本機をご使用の前に、構成品と各部の名称と機能を確認してください。

本機の構成について

本機をご使用になる前に、次の機器と付属品が入っていることを確認してください。

■ 個人認証カードリーダー（本機）



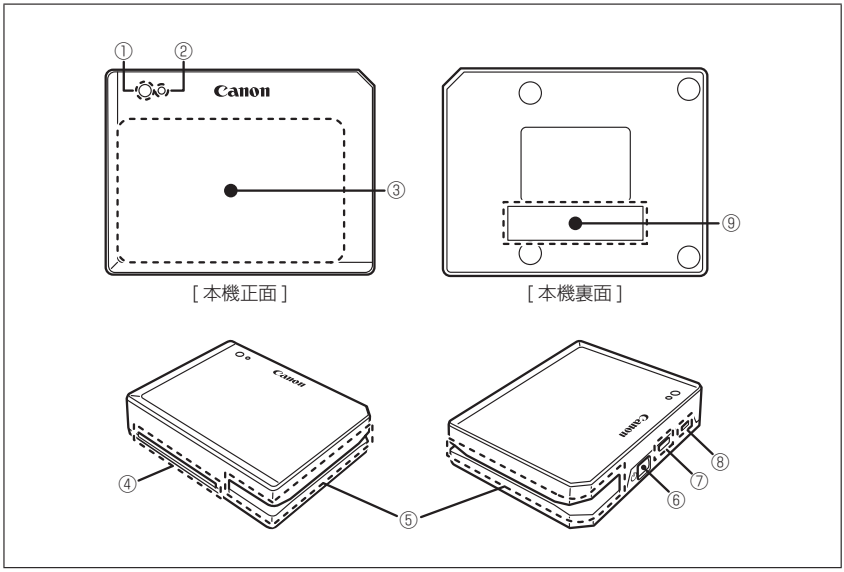
■ ユーザーズガイド

メモ

- 本機には USB 充電用の USB ケーブルや電源アダプターは同梱していません。USB ケーブルや電源アダプターをご購入の際は、仕様のご確認をお願い致します。
（☞ p.14「■ USB で充電する」）

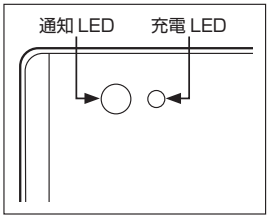
各部の名称と機能

本機の各部の名称と機能は次の通りです。



	名称	機能・役割
①	通知 LED	電源の ON/OFF、通信中、読取完了の状態を表します。
②	充電 LED	充電の状態を表します。 充電方法は 14 ページをご参照ください。
③	非接触 IC カードリーダー	非接触 IC カードの読み取りを行ないます。 読み取り方法は 21 ページをご参照ください。
④	接触 IC カードリーダー	接触 IC カードの読み取りを行ないます。 読み取り方法は 19 ページをご参照ください。
⑤	磁気カードリーダー	磁気カードの読み取りを行ないます。 読み取り方法は 17 ページをご参照ください。
⑥	電源ボタン	本機の電源のオン・オフの切り替えに使います。
⑦	USB-C ポート (USB Type-C)	USB Type-C のコネクターを接続する事ができます。 充電やデータ通信に使います。
⑧	セキュリティースロット	セキュリティワイヤーを取り付けることができます。 対応規格は 24 ページの基本仕様をご参照ください。 ワイヤーの取り付け方は、ワイヤーの取扱説明書をご確認ください。
⑨	管理ラベル貼り付け位置	管理用のラベルを貼るなど、ご自由にお使いください。

LED の色・光り方・状態について



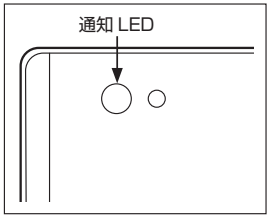
LED	色	光り方	状態
通知 LED（左側）	○ミドリ	点灯	電源 ON
		点滅	通信中
	○アカ	点灯	要充電
		点滅	通信中
	○オレンジ	点灯	読取完了
		点滅	通信中
充電 LED（右側）	○ミドリ	点灯	充電完了
	○オレンジ	点灯	充電中
	●消灯	未充電または充電エラー	

3 ご使用の前に

本機を使用するには、主電源であるバッテリーパックを充電したうえで操作を行ってください。

充電方法

本機に内蔵しているバッテリーパックは、出荷時はフル充電されていません。以下の充電方法でバッテリーパックを充電してください。
また、通知 LED がアカ色に点灯している場合は、バッテリーパックの残量が少なくなり充電が必要であることを示しています。この場合にも以下の充電方法でバッテリーパックを充電してください。



メモ

- 本機は、フル充電が完了する前でも、必要なときに充電機器から取り外して使用することができます。
- 説明中の充電時間は目安です。充電時間は周囲の温度やバッテリーパックの状態により、多少異なります。
- バッテリーパックの取り扱いと交換時期については「バッテリーパックについて」（☞ p.5）を参照してください。

USB で充電する

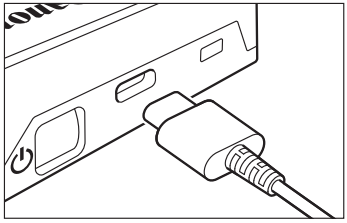
本機の充電には下記の①と②をご用意ください。
① 30W 以上を出力することが可能な USB Power Delivery 対応機器
② 本機の USB インターフェースに接続できる USB Type-C コネクターが付いたケーブル
※ ①と②が接続されて一体型になっている充電機器も使用することができます。
なお、充電する環境によっては誤動作や故障の原因となることがあります。車のシガーソケットなどの特殊な環境での充電は、トラブルの原因になる可能性がありますのでお控えください。
また、本機能はすべての USB Power Delivery 対応機器での充電を保証するものではありません。

⚠ 注意

- **USB コネクターを本機の USB インターフェースに接続している状態で、コネクターのジャック部分に不必要な力を加えないでください。**
  ジャックおよび USB インターフェースの破損の原因となります。
- **この方法で充電を行った後は、必ず USB コネクターを本機から取り外してください。**
  USB コネクターを接続したままで本機を使用すると、誤動作や故障の原因になることがあります。

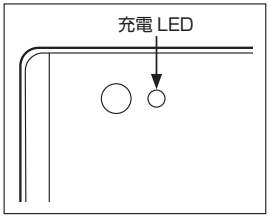
充電方法

1. 本機の USB インターフェースに USB ケーブルの USB Type-C のコネクターを接続してください。



2. 充電機器の説明書の手順に従って充電を始めてください。

本機の充電 LED がオレンジ色に点灯し充電が始まります。
充電 LED が点灯しなかったり消灯してしまったりする場合は、充電エラーになっている可能性があります。あらためて充電機器および充電方法をご確認ください。



3. 充電 LED の点灯色がミドリ色に変わると充電完了です。

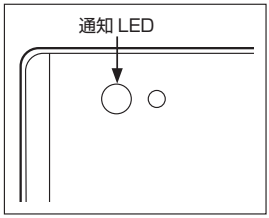
USB インターフェースからコネクターを取り外してください。

4 本機の基本操作

初期設定および電源の切り替え方法について説明します。

電源の切り替えについて

本機の電源の切り替え方法を説明します。



[電源オン] への切り替え

電源ボタンを 1 秒程度押してください。通知 LED がミドリ色に点灯します。

[電源オフ] への切り替え

電源ボタンを 1 秒程度押してください。通知 LED が消灯します。

重要

- 電源の切り替えを短い時間で頻繁に行わないでください。

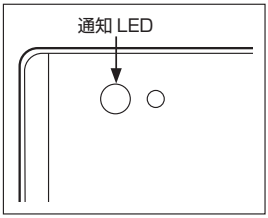
5 カードリーダーの使用方法

磁気カードの読み取り

本機の磁気カードリーダーを使用して磁気ストライプ付きカード（以下、磁気カード）を読み取る場合は、以下の操作方法に従って本機を使用してください。
また、読み取る磁気カードの磁気ストライプは規格に合ったものを使用してください。

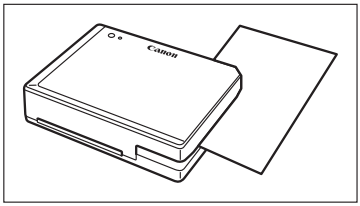
重要

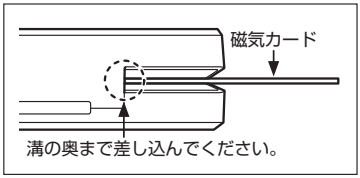
- 通知 LED がアカ色に点灯している場合は、バッテリーパックの残量が少なくなり充電が必要であることを示しています。この場合には、カードの読み取り操作の前に、本機のバッテリーパックを充電してください。
  通知 LED がアカ色に点灯している状態でカードの読み取りを行ないますと、読み取りエラーになります。



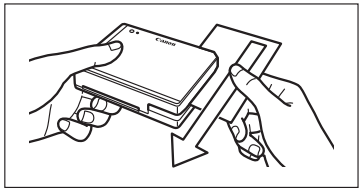
1. 磁気カードを本機にセットする

＊磁気カードの種類によって磁気ストライプのある面が異なります。磁気カードに表示された説明や矢印を確認してください。
＊磁気カードの磁気ストライプ部の向きを確認してください。
＊磁気カードを磁気カードリーダーの溝の奥に突き当たるまで差し込んでください。





2. 磁気カードをスライドする



＊カードを本体に記された矢印とカードに記された矢印の方向を合わせて、右図のように矢印方向手前側にカードをスライドさせてください。

＊通知 LED が点滅し、オレンジ色の点灯に切り替わればカードの読み取りの完了です。

なお、読み取り完了後の通知 LED の色・光り方は、アプリケーションの作成・設定内容によって、上記とは異なる場合があります。詳しくはシステム管理者にご確認ください。

重要

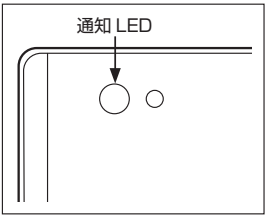
- 磁気カードは磁気カードリーダーの奥に突き当たるまで差し込んでください。磁気カードを奥まで差し込まずに読み取ると、リードエラーの原因となります。
- 磁気カードを読む場合は、一定の速度でスライドさせてください。読み取りの途中で速度を速くしたり遅くしたりするとリードエラーの原因となります。
- 磁気カードをスライドさせる速度により読み取りができない場合があります。
- 読み取れる磁気カードの厚さは 1mm までです。
- 変形したり反った磁気カードでは読み取りができない場合があります。
- 磁気カードの磁気ストライプ部が汚れていると読み取りづらくなります。磁気カードの磁気ストライプ部が汚れているときはきれいなやわらかい布などで磁気ストライプ部をふいてください。
- 磁気カードを磁石に近づけないでください。データの読み取りができなくなる場合があります。
- 磁気カードリーダーに無理な力をかけないでください。磁気カードリーダーに無理な力をかけると、故障の原因となります。
- 磁気カードリーダーにほこりなどの異物が入らないようにしてください。磁気カードリーダーに異物が入ると、故障や読み取り能力の低下の原因となります。磁気カードリーダーに異物が入った場合は、お買い上げの担当営業までご相談ください。

接触 IC カードの読み取り

本機の接触 IC カードリーダーを使用して接触 IC カードを読み取る場合は、以下の操作方法に従って本機を使用してください。
また、読み取る接触 IC カードは規格に合ったものを使用してください。

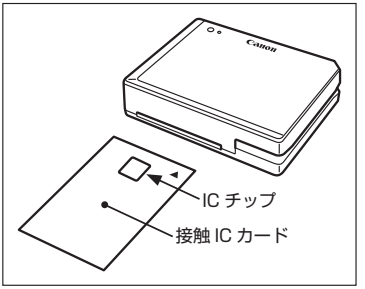
重要

- 通知 LED がアカ色に点灯している場合は、バッテリーパックの残量が少なくなり充電が必要であることを示しています。この場合には、カードの読み取り操作の前に、本機のバッテリーパックを充電してください。
  通知 LED がアカ色に点灯している状態でカードの読み取りを行ないますと、読み取りエラーになります。



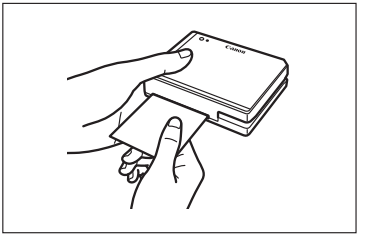
1. 接触 IC カードの向きを確認する

接触 IC カードを差し込むときには、必ず接触 IC カードの表裏を確認してください。図のような接触 IC カードの向きになっていない場合、接触 IC カードや本機の故障や破損などの原因となります。



2. 接触 IC カードリーダーのスロットに差し込む

＊右のように接触型 IC カードはスロットの奥に突き当たるまで、ゆっくりと差し込んでください。差し込みが浅いとリードエラーの原因となります。
＊通知 LED が点滅し、オレンジ色の点灯に切り替わればカードの読み取りの完了です。読み取りが完了するまで、接触 IC カードは抜き取らないでください。
なお、読み取り完了後の通知 LED の色・光り方は、アプリケーションの作成・設定内容によって、上記とは異なる場合があります。詳しくはシステム管理者にご確認ください。



重要

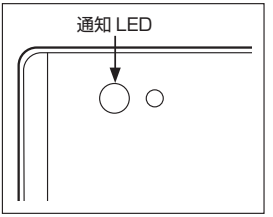
- 変形したり反った接触 IC カードでは読み取りができない場合があります。
- 接触 IC カードを磁石に近づけるとデータの読み取りができなくなる場合がありますので磁石には近づけないでください。
- 接触 IC カードの IC チップ部が汚れていると読み取りづらくなります。接触 IC カードの IC チップ部が汚れているときはきれいなやわらかい布などで IC チップ部をふいてください。
- 接触 IC カードリーダーのスロットに無理な力をかけないでください。無理な力をかけると故障の原因となります。
- 接触 IC カードリーダーのスロットにほこりなどの異物が入らないようにしてください。スロットに異物が入ると、故障や読み取り能力の低下の原因となります。スロットに異物が入った場合は、お買い上げの担当営業までご相談ください。

非接触 IC カードの読み取り

非接触 IC カードリーダーを利用して非接触 IC カード（NFC 対応の携帯電話などの機器を含む）を読み取る場合、以下の操作方法に従って非接触 IC カードリーダーを使用してください。
非接触 IC カードリーダーを使用する場合は、アプリケーションが必要です。詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。

重要

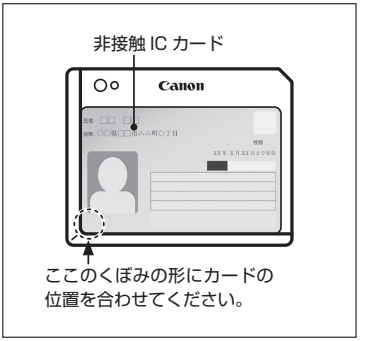
- 通知 LED がアカ色に点灯している場合は、バッテリーパックの残量が少なくなり充電が必要であることを示しています。この場合には、カードの読み取り操作の前に、本機のバッテリーパックを充電してください。
  通知 LED がアカ色に点灯している状態でカードの読み取りを行ないますと、読み取りエラーになります。



1. 非接触 IC カードを読み取る

非接触 IC カードを、右の図のように本機の上に置いてください。

＊通知 LED が点滅し、オレンジ色の点灯に切り替わればカードの読み取りの完了です。
なお、読み取り完了後の通知 LED の色・光り方は、アプリケーションの作成・設定内容によって、上記とは異なる場合があります。詳しくはシステム管理者にご確認ください。



重要

- カードと本機の読み取り位置が離れてしまっていると、正しく読み取れない場合があります。カードケースに入れたカードは、読み取りの際にはケースから取り出してください。また、非接触 IC カードの機能を持ったスマートフォンなどの機器も、ケースから機器を取り出して、機器の NFC マークを本機の非接触カードリーダーがある面の中心に合わせて密着させてください。
- 正しく読み取ることができない場合は、カードを動かして位置を調節してみてください。
- 複数の非接触 IC カードを重ねて読み取らせないでください。非接触 IC カードの読み取り不良の原因となります。
- 非接触 IC カードリーダー機能は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。
- 周波数帯は 13.56MHz 帯です。周辺で他のリーダーを使用している場合は、他のリーダーから十分に離してお使いください。
- 非接触 IC カードの仕様によっては、本機で読み取ることができない場合があります。事前に非接触 IC カードの仕様を確認してください。

6 こんなときには（Q&A）

Q 本機の電源がオンに切り替わらない。

A バッテリーパックの電池残容量は充分ですか？電池残容量がある一定の値以下に下がると本機は起動しません。「充電方法」（☞ p.14）を確認してください。

Q 充電の最中に本機が少し熱を帯びる。

A 充電時には機器に熱を帯びることがありますが、異常や故障ではありません。

Q 新品なのに使用できる時間が短い。

A はじめて使用する場合やバッテリーパックを交換した機体を使い始める場合には、バッテリーパックの特性により充分に充電しても使用時間が短いことがありますが、異常や故障ではありません。数回充放電を繰り返すことにより、所定の時間使用できるようになります。

Q 長期間保管していた本機が使用できない、または使用できる時間が短い。

A 本機を長期間保管した後にご使用になる場合には、バッテリーパックの特性によりご使用になれなくなったり、充分に充電しても使用時間が短くなることがありますが、異常や故障ではありません。定期的に充電／放電することをお勧めします。

Q 本機が正しく動作しない、または全く動作しない。

A バッテリーパックの電池残容量は充分ですか？電池残容量がある一定の値以下に下がると本機は起動しません。「充電方法」（☞ p.14）を確認してください。

Q 本機の電源がオフにならない。

A 電源ボタンを押しても電源がオフにならない場合は、システム管理者とご相談し、下記の手順でリセットの処理を行なってください。
電源ボタンを 10 秒以上長押ししてください。その間に通知 LED が消灯し、再度ミドリ色に点灯します。
通知 LED がミドリ色に点灯したら、電源ボタンから手をはなしてください。

7 ID-MY2 製品仕様

基本仕様

機種名		ID-MY2
対応 OS		iOS、iPadOS、Android、Windows
通信部	磁気カードリーダー	JIS Ⅰ 第 1/ 第 2 トラック、JIS Ⅱ 準拠
	接触 IC カードリーダー	ISO/IEC7816-3 準拠、全銀協 IC キャッシュカード標準仕様準拠
	非接触 IC カードリーダー	ISO14443 Type B、FeliCa Type B 対応カード：マイナンバーカード、 運転免許証、 在留カード
インターフェース	Bluetooth	Bluetooth Low Energy 5.1
	USB	USB：USB2.0 Full-speed コネクター：Type-C × 1
	セキュリティースロット	2.5 × 6mm Kensington NanoSaver(ナノセキュリティスロット）ロック規格に準拠
寸法		幅 約 101mm ×奥行 約 79mm ×高さ 約 25mm （突起部を除く）
質量		約 135g
電源	使用電池	リチウムイオン電池 1200mAh
	運用時間	待機状態：約 12 時間 連続使用：約 8 時間
	充電時間	約 4 時間（常温下のフル充電）
	充電方法	USB ポートから USB 充電器を使用 （ケーブル、充電器（USB-PD 規格対応、PSE 適合品）30W のものを別途購入）

キヤノン電子株式会社
お問い合わせ先
キヤノンマーケティングジャパン株式会社　　canon.jp/ht

Li-ion

本機はリチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

PUB. CE-HJ-038-V1
© CANON ELECTRONICS INC. 2024